

お盆特別セミナー

テクニカルから見た

年後半の相場見通し

2022年8月16日

エクイティ情報部

内容①押さえておきたいテクニカル分析

- ・天井打ち、底打ちの基本形トリプルフォーメーションとダブルフォーメーション
- ・移動平均線(MA)の向きが相場の方向性を示唆
- ・エンベロープ(移動平均線乖離率バンド)…ロープを使った逆張り戦略
- ・分位別株価と順パターン・逆順パターンから相場年齢、相場の強さをはかる

内容②年後半の相場見通しは

- ・200日移動平均線(MA)の向きと6カ月の日柄に注目(日経平均)
- ・28,300円の壁を上抜け、30,000円超を目指す展開
- ・日経平均、ナスダック、NYダウの高値、安値のメドは？
- ・ナスダックは底を打ったのか
- ・日経平均長期波動からの見通し

フォーメーション分析(ヘッド・アンド・ショルダーズ)



意味と特徴

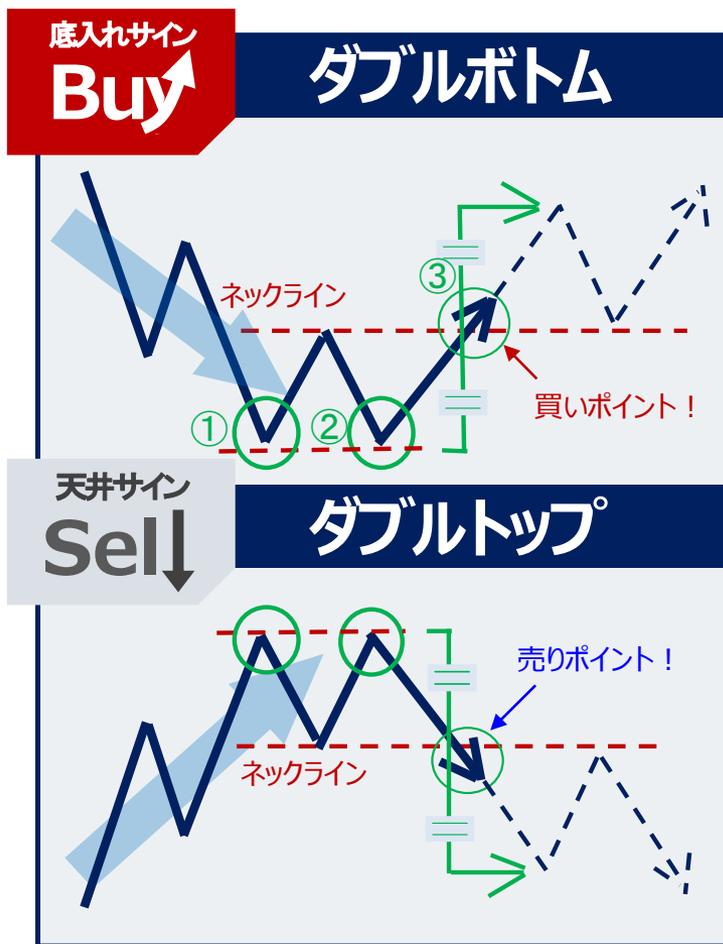
◎ **三尊天井(ヘッド・アンド・ショルダーズ・トップ)**は株価天井の基本的な形。上昇中の株価が3つの『山』を形成するが、3つ目の山(高値③)は2つ目の山(高値②)を抜けきれず、安値①と②を結んだネックラインを下回ると完成。このパターンが示現した場合は売りシグナル。

◎ **逆三尊**は株価底打ちの基本的な形。下落中の株価が3つの『谷』を形成するが、3つ目の谷(安値③)は2つ目の谷(安値②)を下回らず、高値①、高値②を結んだネックラインを上回ると完成。このパターンが示現した場合は買いシグナル。

図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

フォーメーション分析(ダブルフォーメーション)



意味と特徴

- ◎ **ダブルフォーメーション**は、トレンドの転換を示唆するチャート形状。下記の2パターンが存在する。
- ◎ **ダブルボトム**は、下降トレンドの最終局面で現れ、2つの『谷』(①,②)がほぼ同じ位置にある状態。直近の高値(『**ネックライン**』)を突破することで、上昇パターンが完成する(③)。下降トレンドからの反転を示唆し、安値からネックラインまでの上昇の倍上げが最低目標価格とされる。また、ネックラインはその後のサポート(下値支持)ラインとなる。
- ◎ **ダブルトップ**は、ダブルボトムの反対のパターンで、下降トレンドへの転換を示唆する。上昇トレンドが続いた後、2つの『山』が天井となり、ネックライン(直近安値)を下回ること、下落パターンが完成する。

図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

移動平均線

「移動平均線に始まり、移動平均線に帰る」

価格の一定期間の平均値を算出し、時間の経過に従いグラフ化したもの。

日足：5日線、25日線、75日線、**200日線**など

週足：13週線、26週線、52週線など

月足：12カ月線、24カ月線、60カ月線など

	鋭敏性（追隨性）	ダマシ	信頼性(トレンド)
短期線	鋭	多	低
中期線	↕	↕	↕
長期線	鈍	少	高

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成。

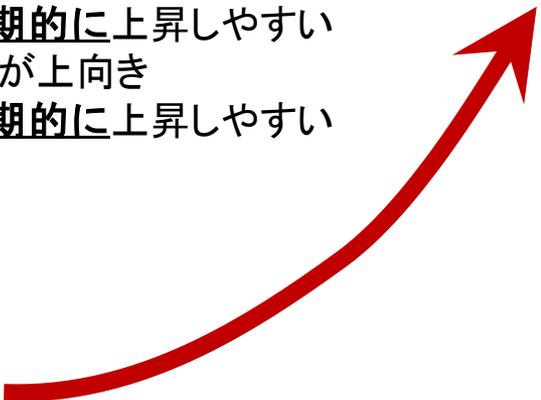
移動平均線 単線分析

移動平均線(MA)の向きが相場の方向性を示唆

Buy 

上向き

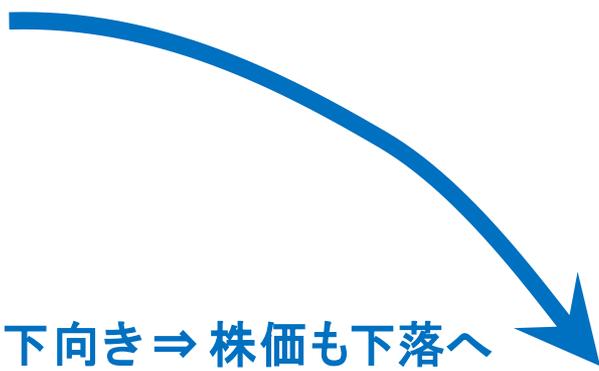
MA線が上向き ⇒ 株価も上昇へ

- ・短期線が上向き
→ 短期的に上昇しやすい
 - ・長期線が上向き
→ 長期的に上昇しやすい
- 

Sell 

下向き

MA線が下向き ⇒ 株価も下落へ

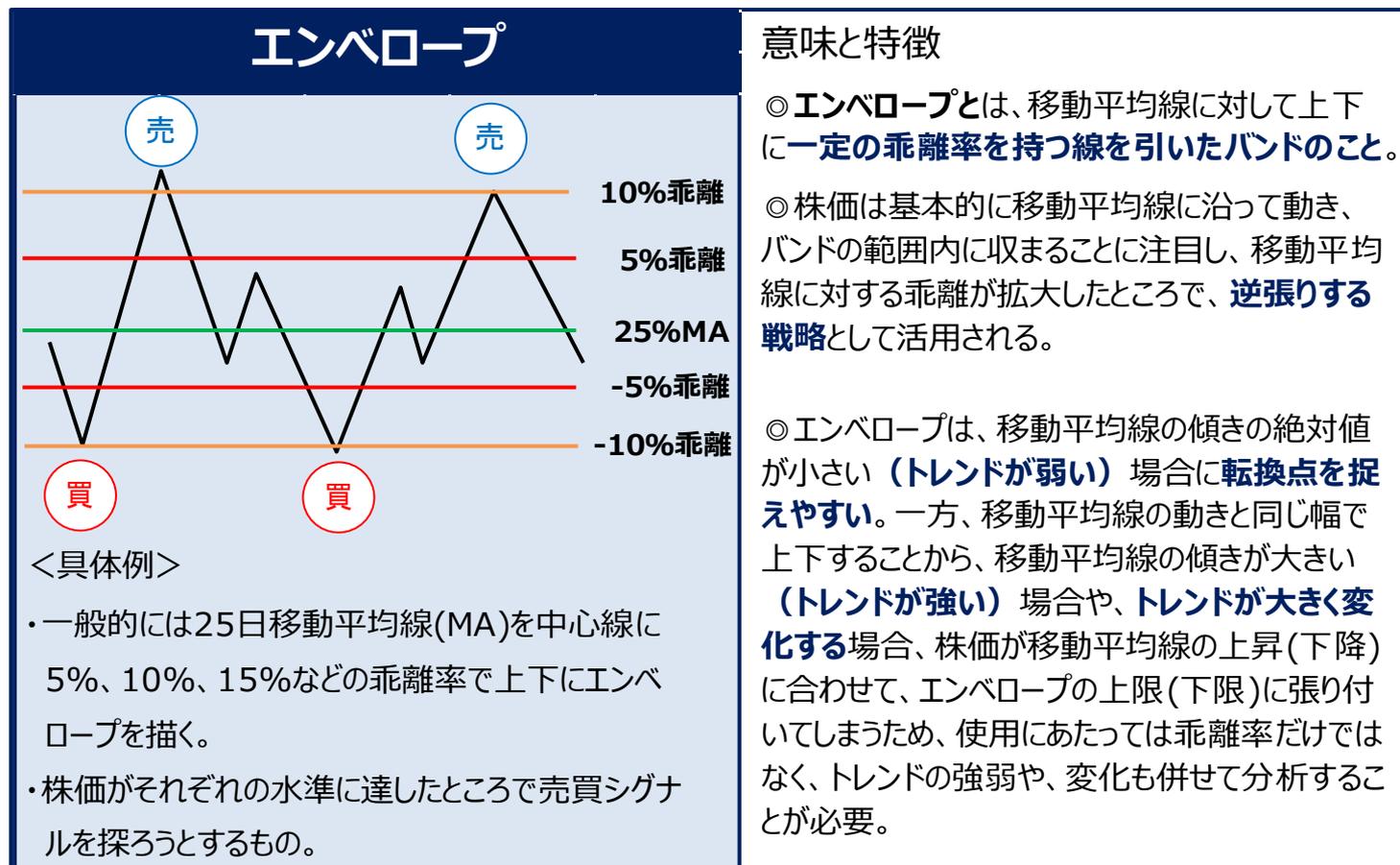
- ・短期線が下向き
→ 短期的に下落しやすい
 - ・長期線が下向き
→ 長期的に下落しやすい
- 

図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

移動平均線 エンベロープ

エンベロープ(移動平均線乖離率バンド)…ロープを使った逆張り戦略

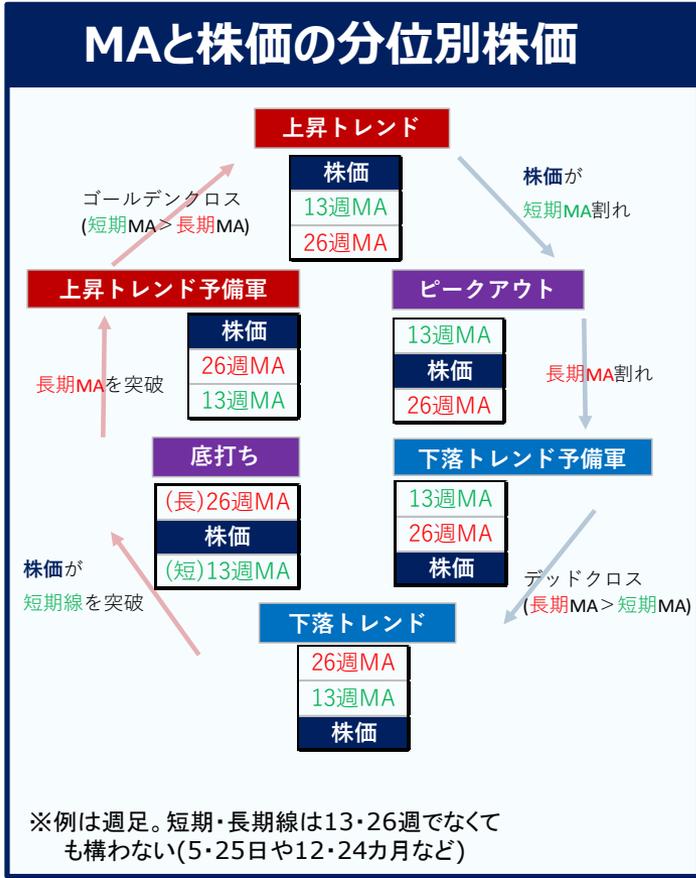


図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

移動平均線と株価の位置関係(分位別株価)

今は相場循環のどの局面か



意味と特徴

株価は、短期的な上昇と下落を繰り返しながら、長期的なトレンドを形成する。上昇・下落の中で、移動平均(MA)線と株価は、その位置関係について循環しながら動いていくため、「分位別株価」では、短期・長期のMA線と株価との位置関係を6通りに分けることができる。

これらを明らかにすることで、株価が現在、ボトム～ピークの循環局面の中のどの位置にあるか、その方向性や勢いを知ることができる。これを参考に、できるだけ期待値の高い相場に乗ることが重要となろう。

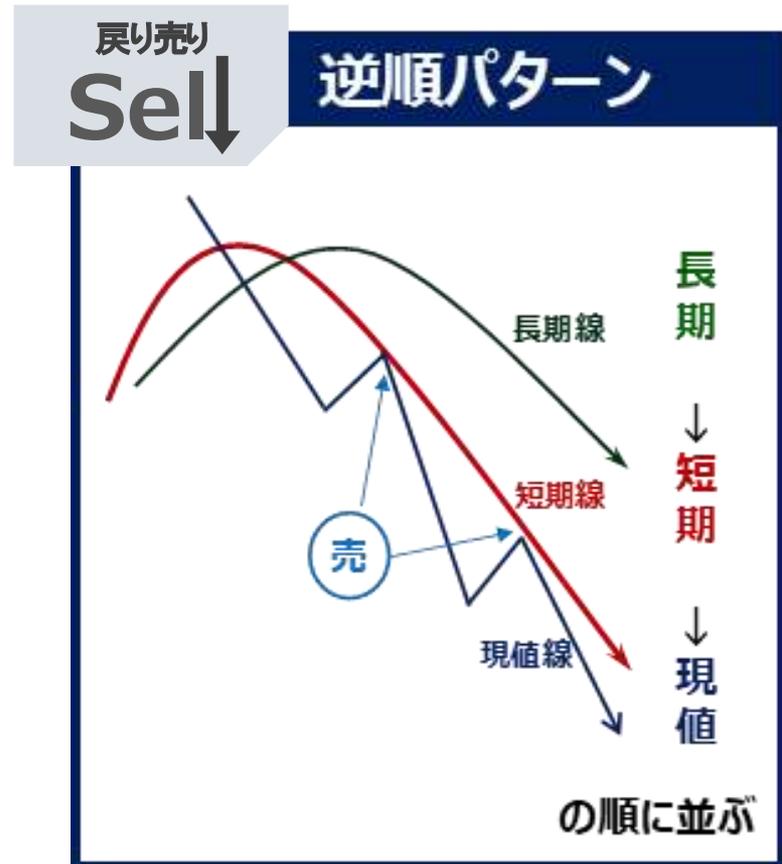
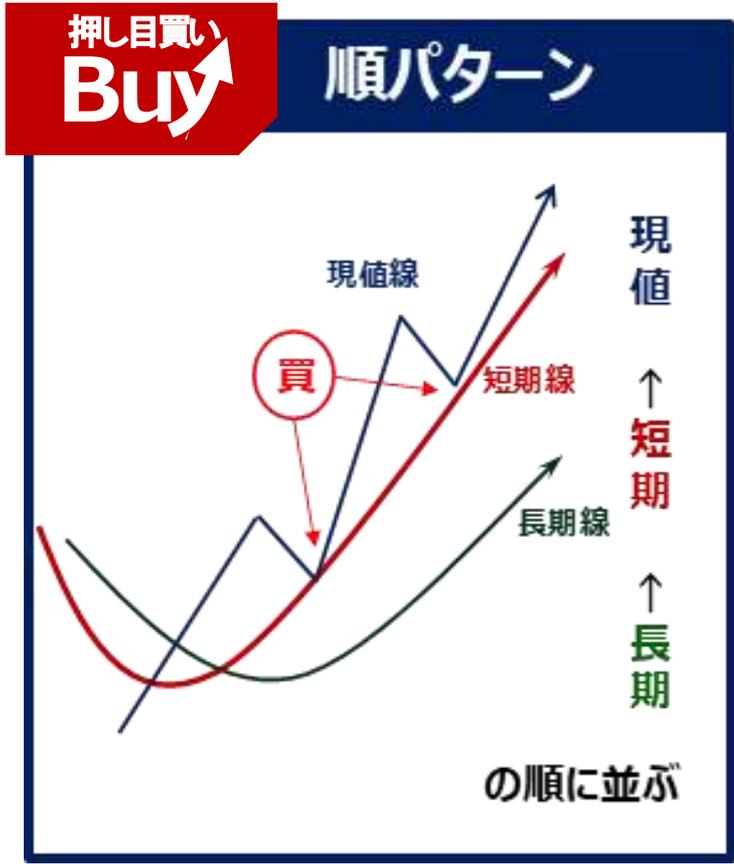
※実戦では、MA線の位置だけでなく「向き」などを確認し、ダマシにも注意する必要がある。

図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

順パターン・逆順パターン 複数線分析

順パターン …強い上昇トレンドにある
逆順パターン…強い下降トレンドにある



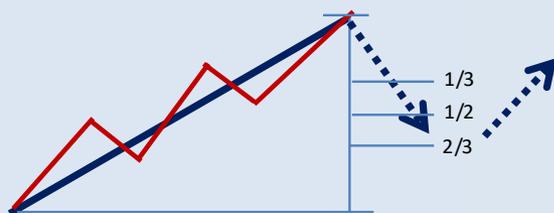
図はすべてイメージ図

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

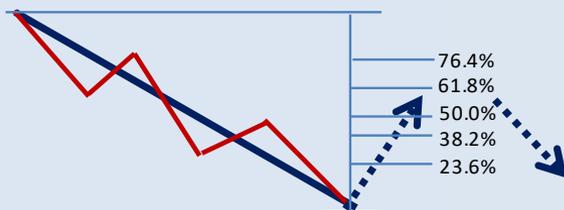
パーセンテージ・リトレースメント

3つの推定方法

ダウ・リトレースメント



フィボナッチ・リトレースメント



ギャン・リトレースメント



図はすべてイメージ図

トレンドは、トレンドと同方向に動く推進波動と、反対方向に動く修正波動の組合せで構成されている。この修正の動きを**リトレースメント(あや戻し)**というが、推進波動の大きさから修正波動の大きさ(メド)を計る方法がいくつかある。

①ダウ・リトレースメント

1/3(33.3%), 1/2(50%), 2/3(66.7%)の水準に注目する。

②フィボナッチ・リトレースメント

23.6%、38.2%、50%、61.8%、76.4%の水準に注目する。

③ギャン・リトレースメント

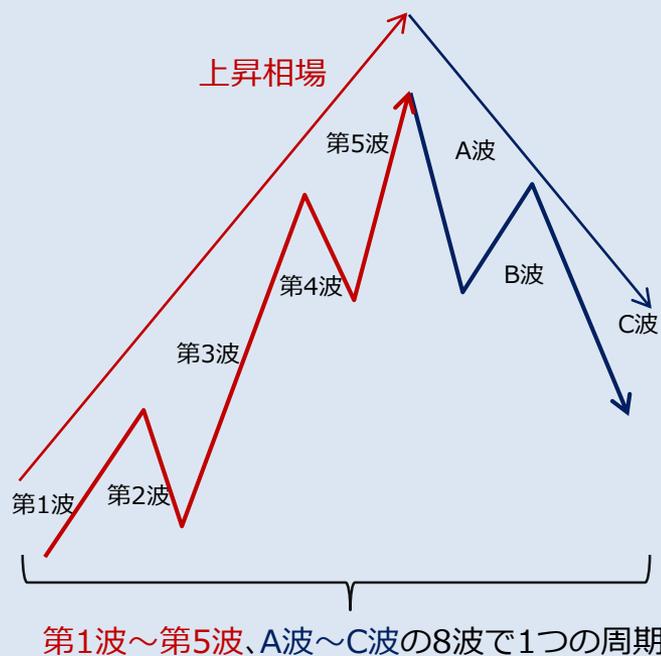
1/8(12.5%)、2/8(25%)、1/3(33.3%)、3/8(37.5%)、4/8(50%)、5/8(62.5%)、2/3(66.7%)、6/8(75%)、7/8(87.5%)の水準に注目する。

総称して**パーセンテージ・リトレースメント**という。

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

エリオット波動論(波動論の基本)

エリオット波動論の基本



第1・第3・第5・A・C波は大きな波と同じ方向に動く**衝撃波**、
第2・第4・B波は大きな波と逆の方向に動く**修正波**という。

図はすべてイメージ図

◎「エリオット波動論」は、チャート分析家エリオットの研究論文。

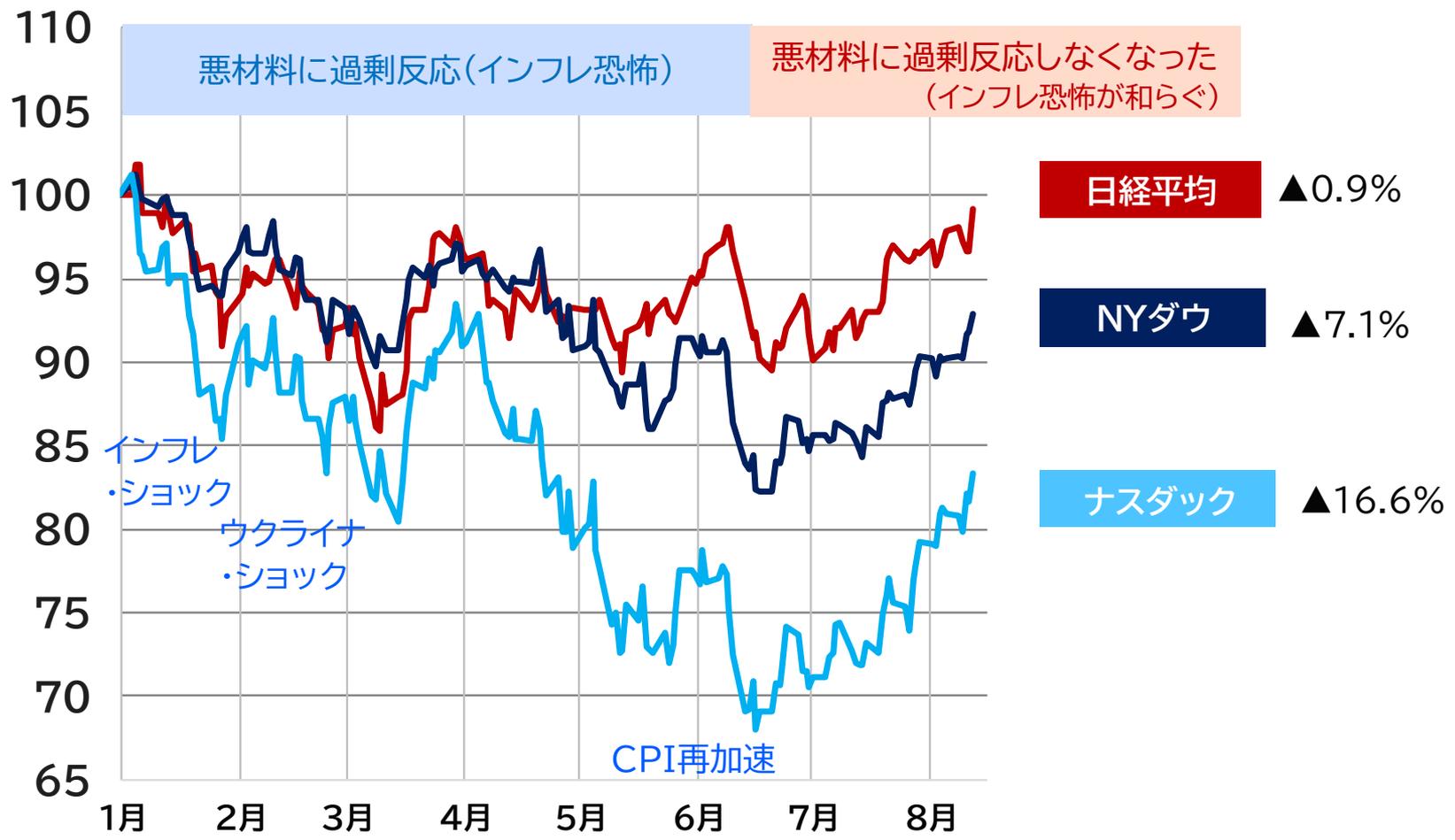
◎ 株式相場(上昇相場)は

- ・5波構成の強気相場(第1波～第5波)と
- ・3波構成の弱気相場(A波～C波)の8つの波で1つの周期を構成。

◎ エリオット波動論を使うことで、株価がサイクルの中で、どこに位置しているのかを確認でき、株価の将来の天井や底値を予想する手がかりを得ることもできる。

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

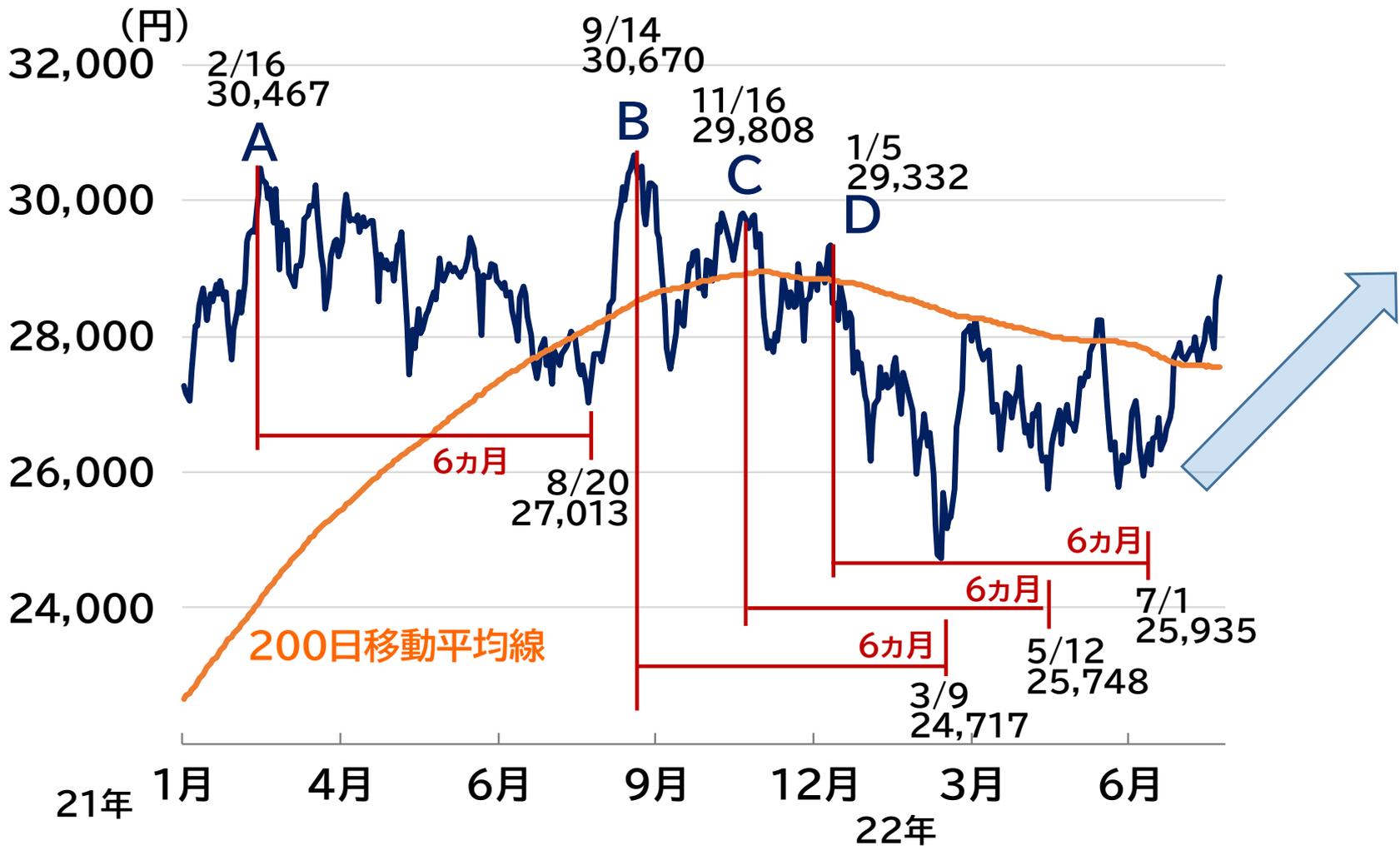
日米主要株価指数の推移(2022年)



出所:Astra、作成:岡三にいがた証券 直近は8月12日

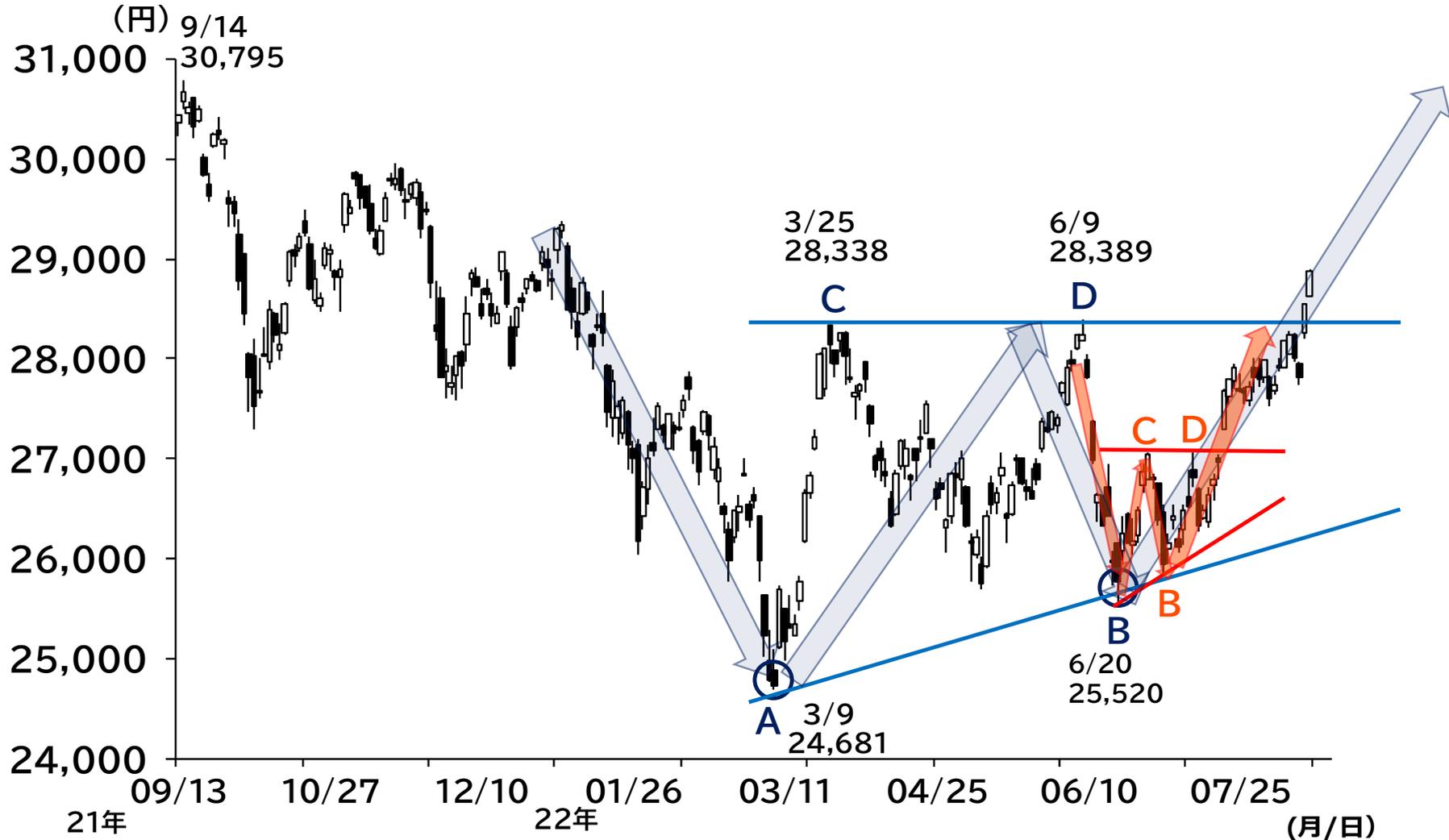
(21年12月末=100)

200日移動平均線の向きと6カ月の日柄(日経平均:日足)



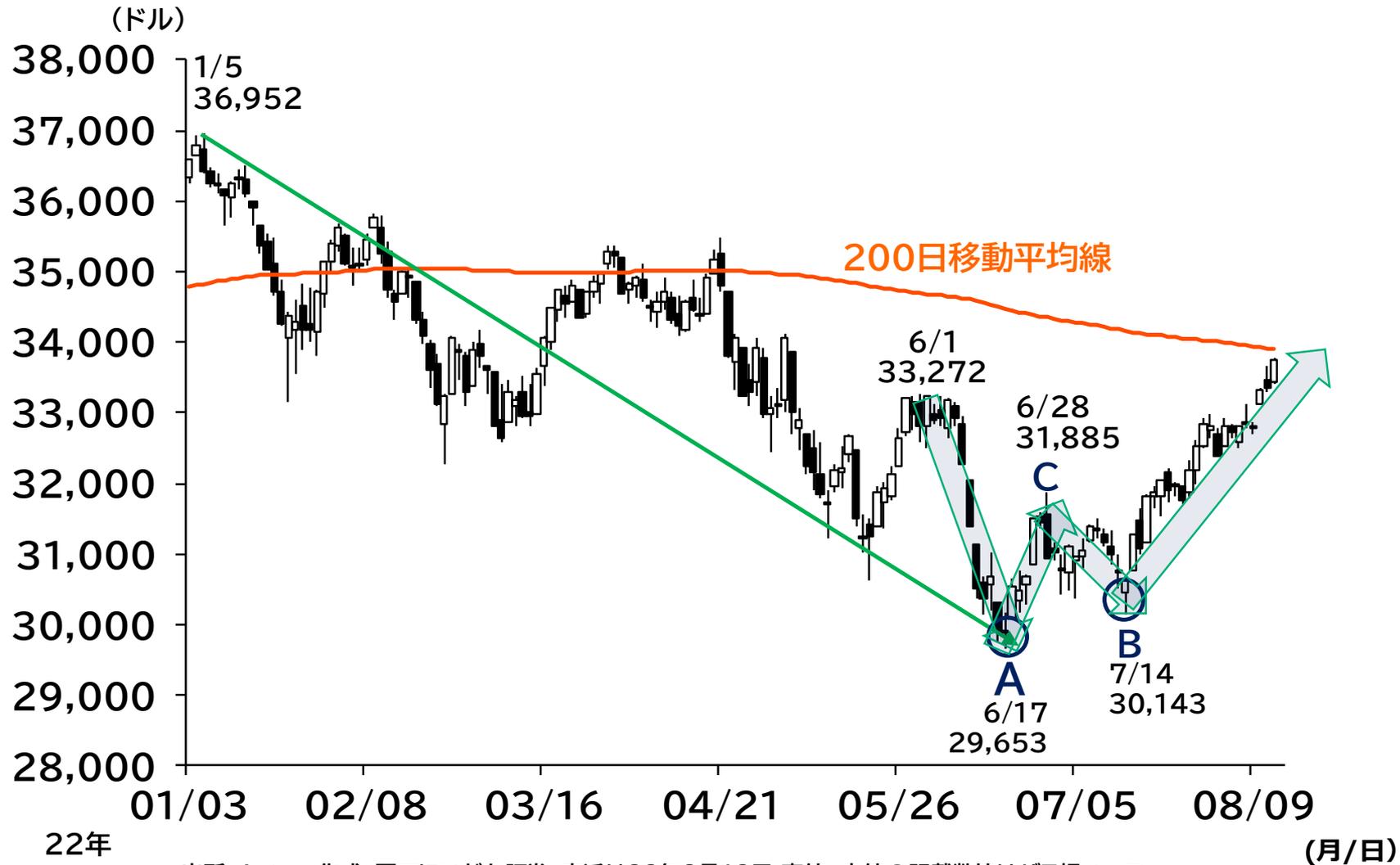
出所:Astra、作成:岡三にいがた証券、直近は22年8月15日

ダブルボトム完成で30,000円超を目指そう(日経平均:日足)



出所:Astra、作成:岡三にいがた証券、直近は22年8月15日 高値、安値の記載数値はザラ場ベース

NYダウの戻りのメドは？(NYダウ:日足)



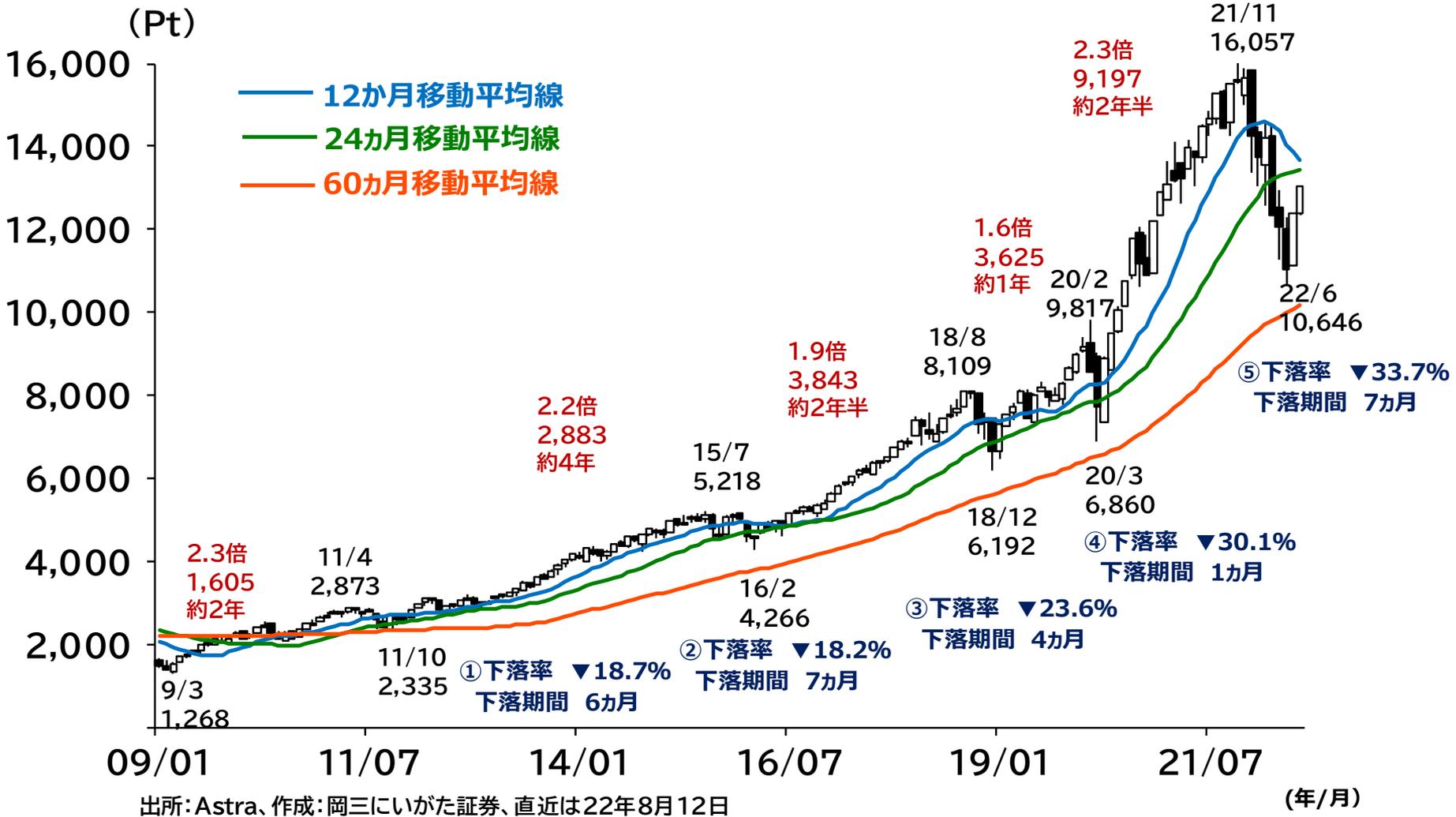
出所:Astra、作成:岡三にいがた証券、直近は22年8月12日 高値、安値の記載数値はザラ場ベース

ナスダックの戻りのメドは？(ナスダック:日足)

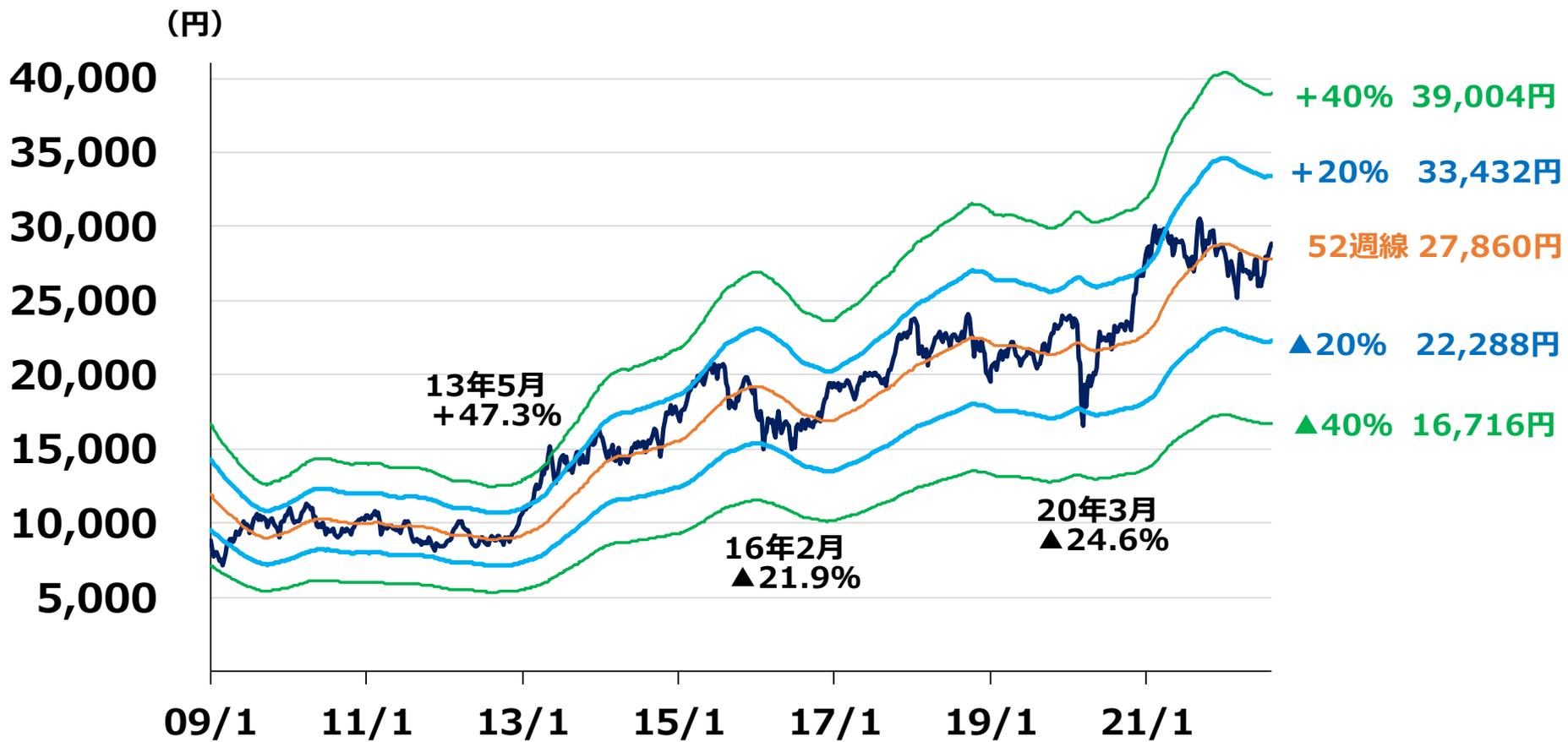


出所:Astra、作成:岡三にいがた証券、直近は22年8月12日 高値、安値の記載数値はザラ場ベース

ナスダックは大底確認したのか(長期視点、ナスダック:月足)

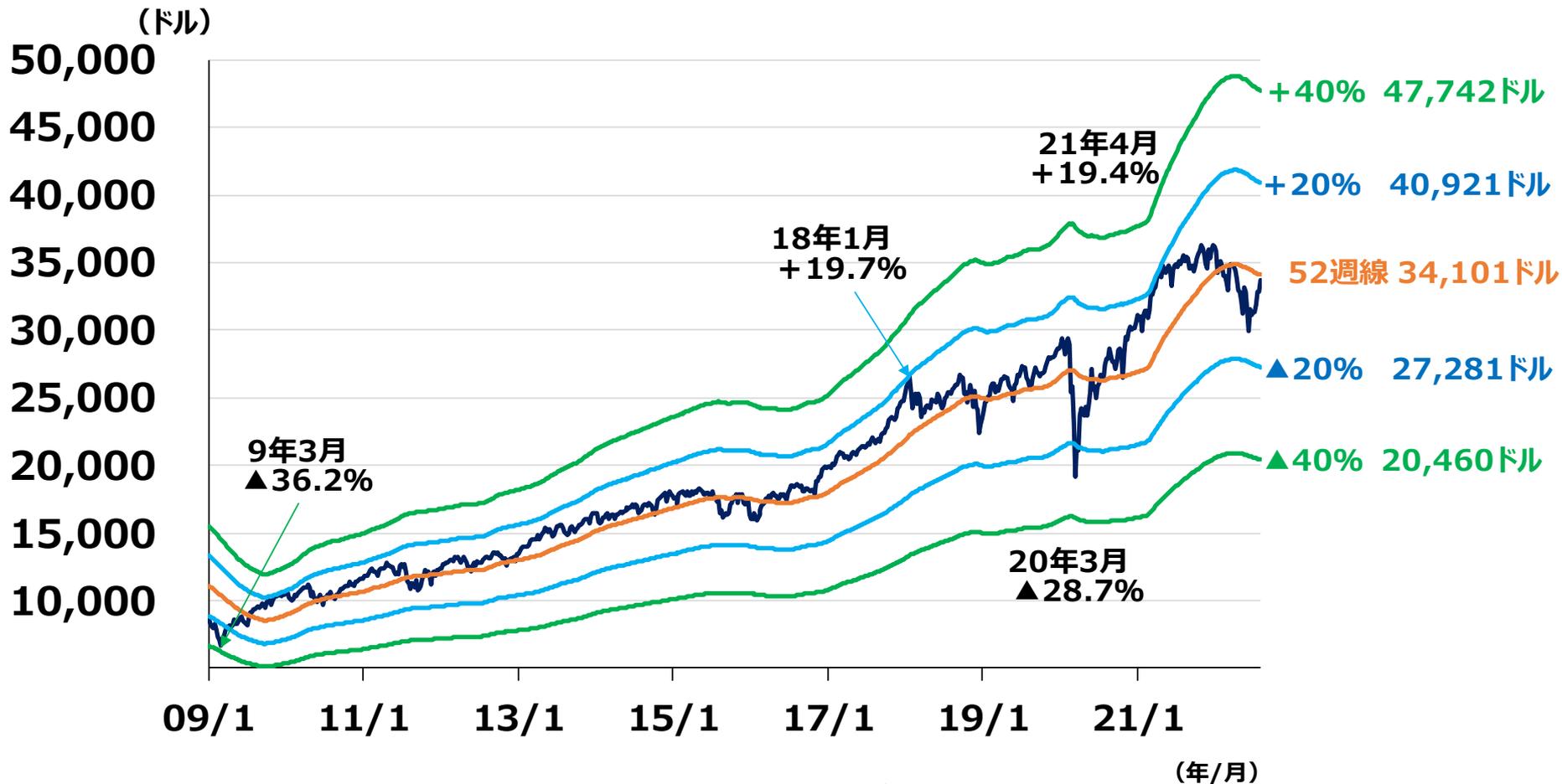


日経平均(週足):想定ゾーン(エンベロップ)

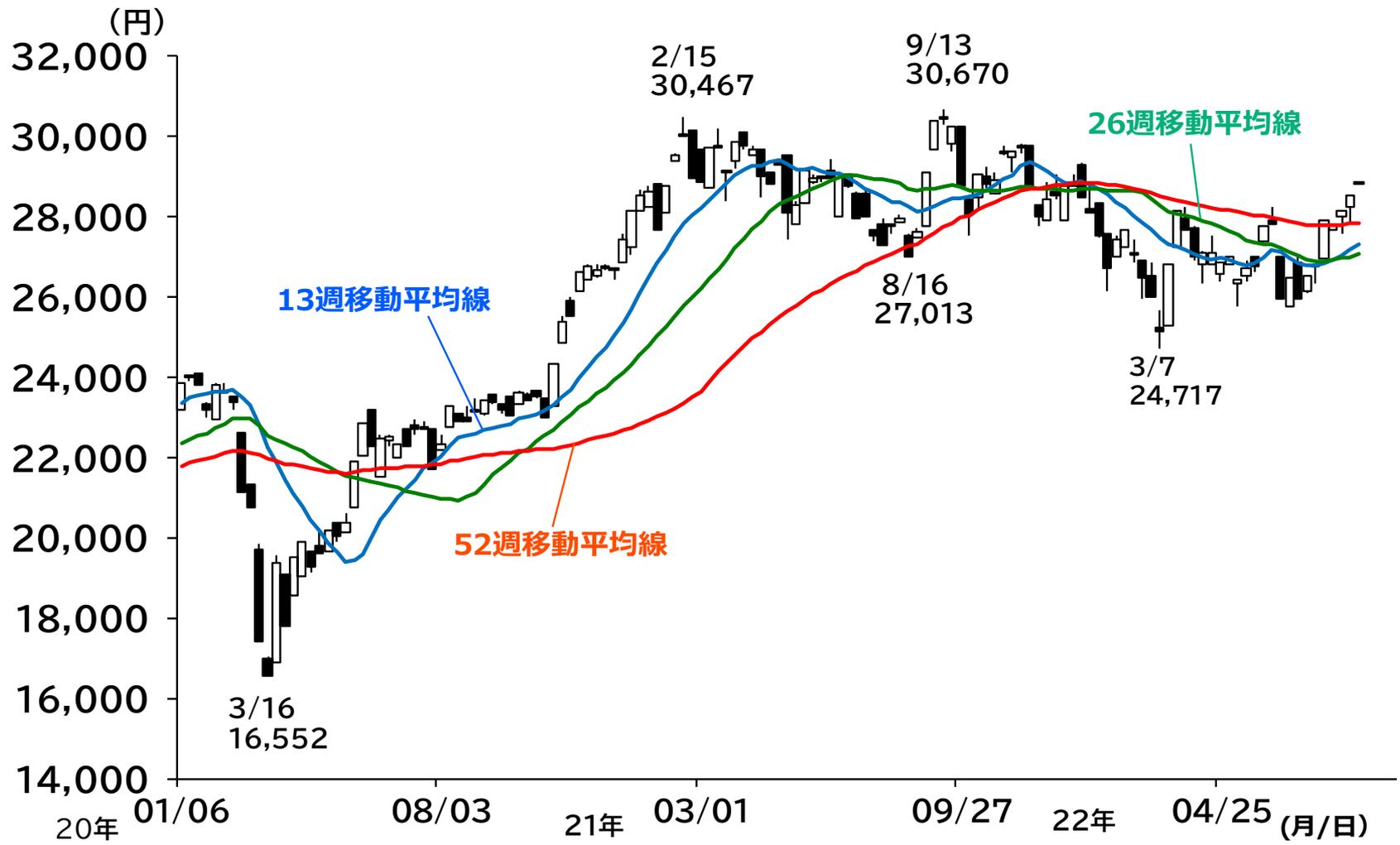


出所 : Astra、作成 : 岡三にいがた証券、直近は22年8月15日 (年/月)

NYダウ(週足):想定ゾーン(エンベロップ)

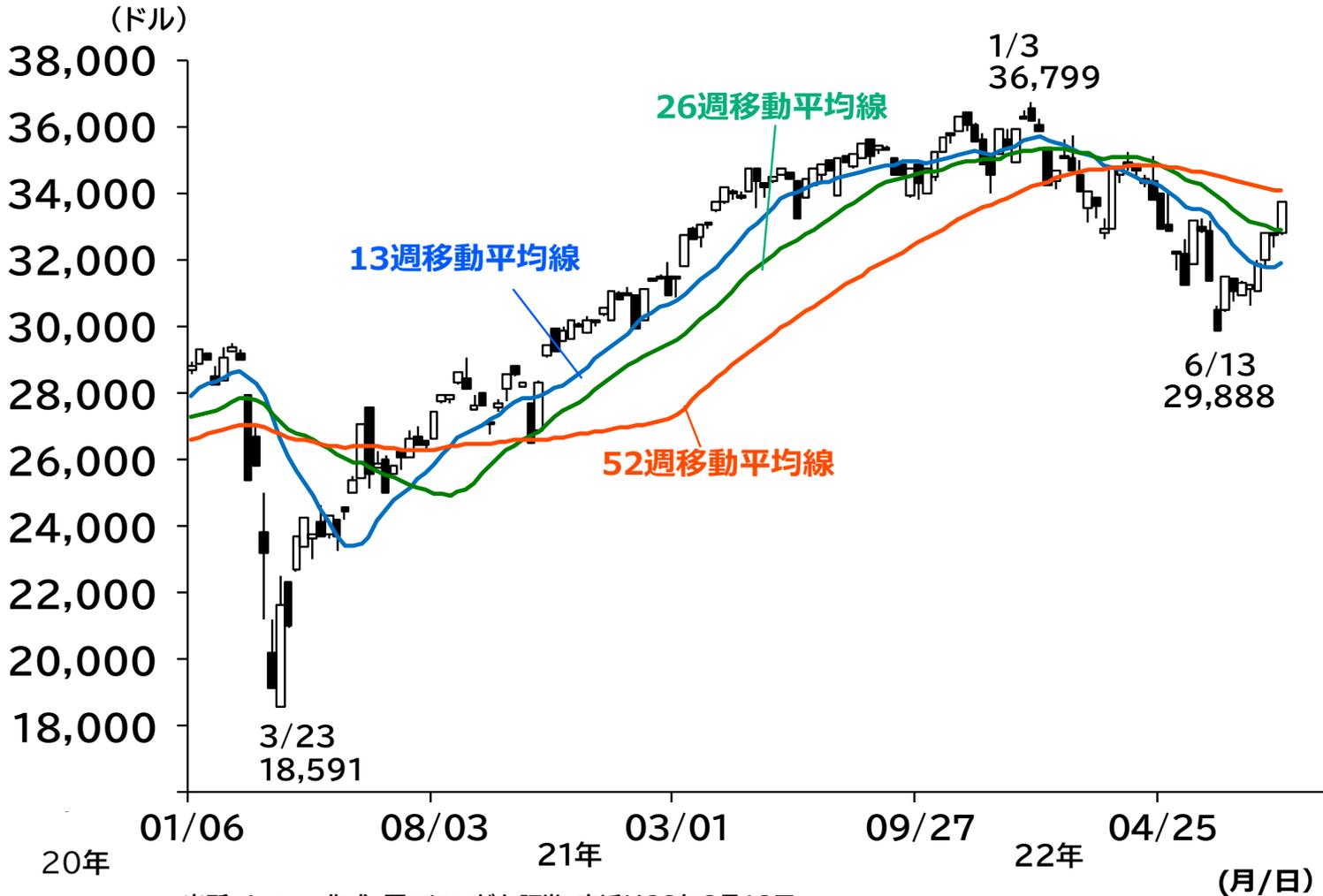


コロナショック以降の日経平均(週足)と各種移動平均線



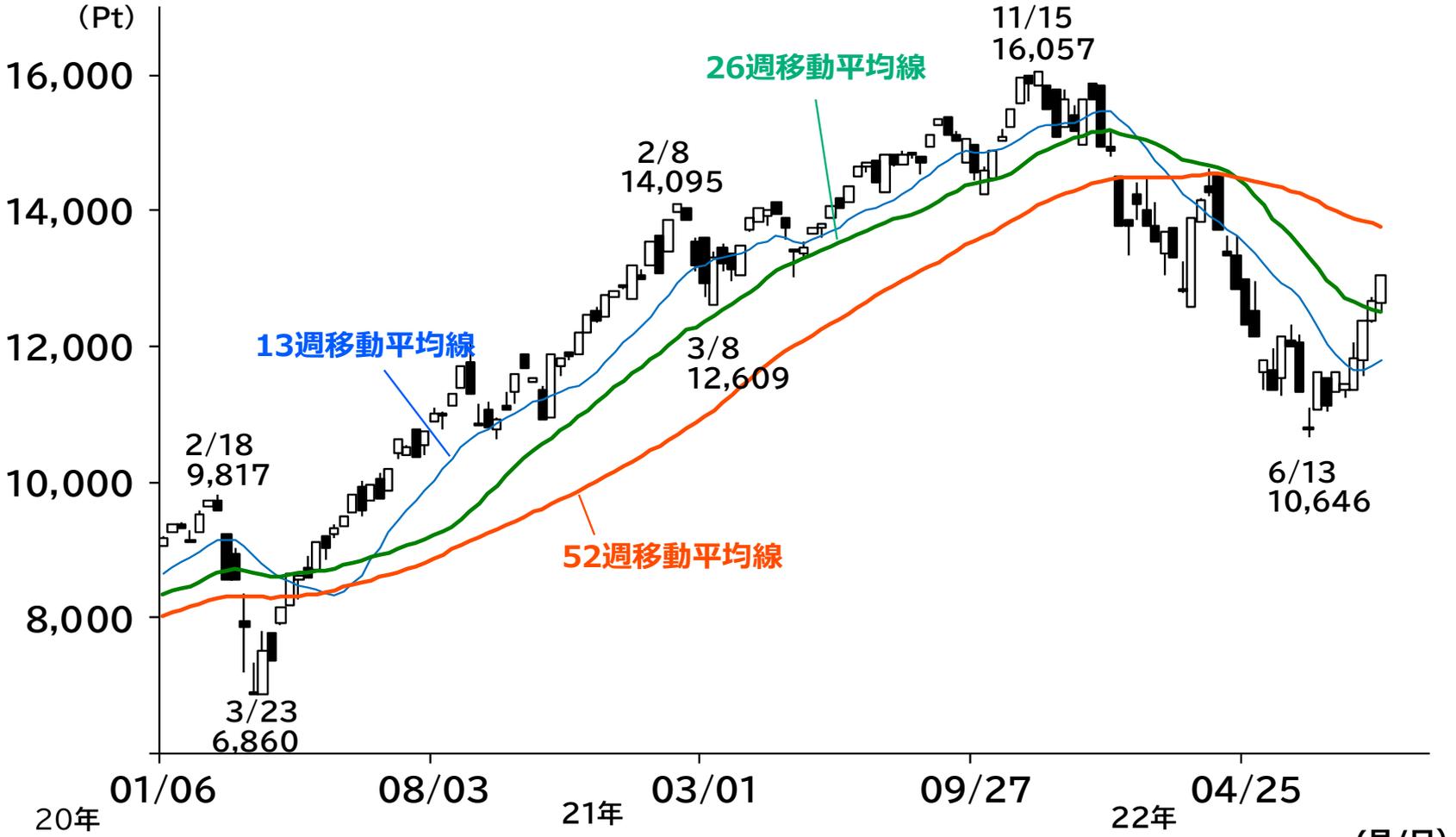
出所: Astra、作成: 岡三にいがた証券、直近は22年8月15日

コロナショック以降のNYダウ(週足)と各種移動平均線



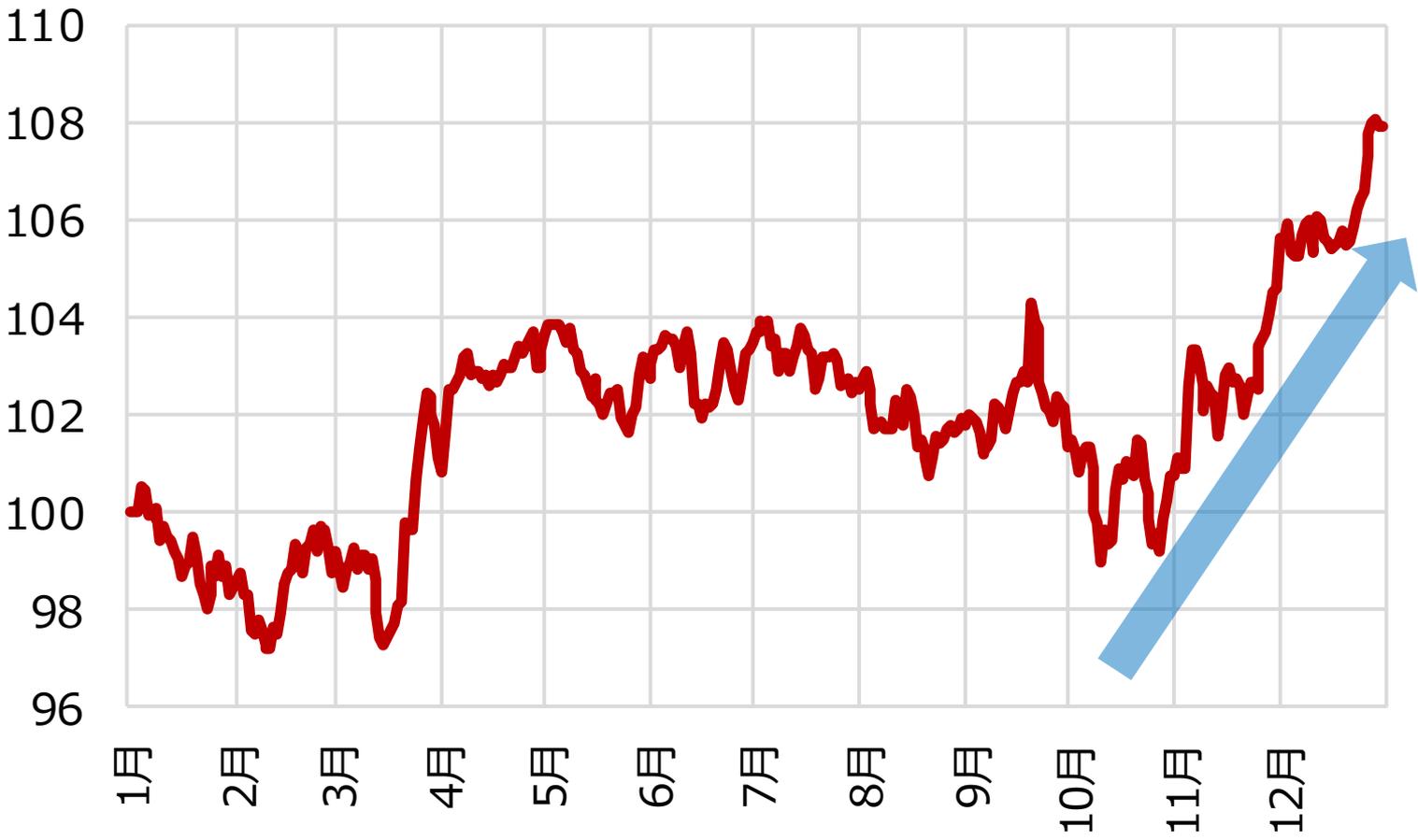
出所: Astra、作成: 岡三にいがた証券、直近は22年8月12日

コロナショック以降のナスダック(週足)と各種移動平均線



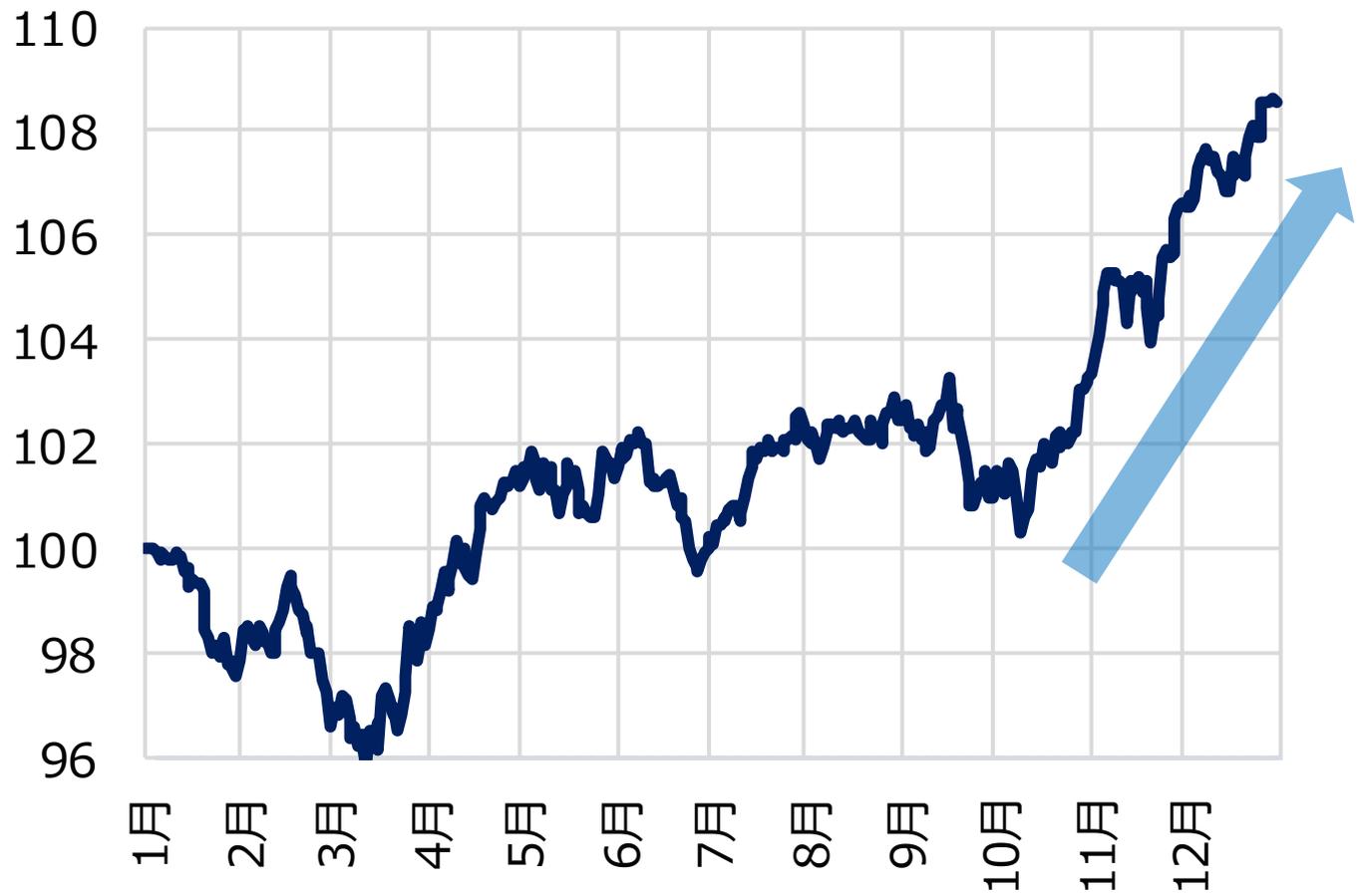
出所: Astra, 作成: 岡三にいがた証券、直近は22年8月12日

日経平均の月別平均リターン(2000年以降)



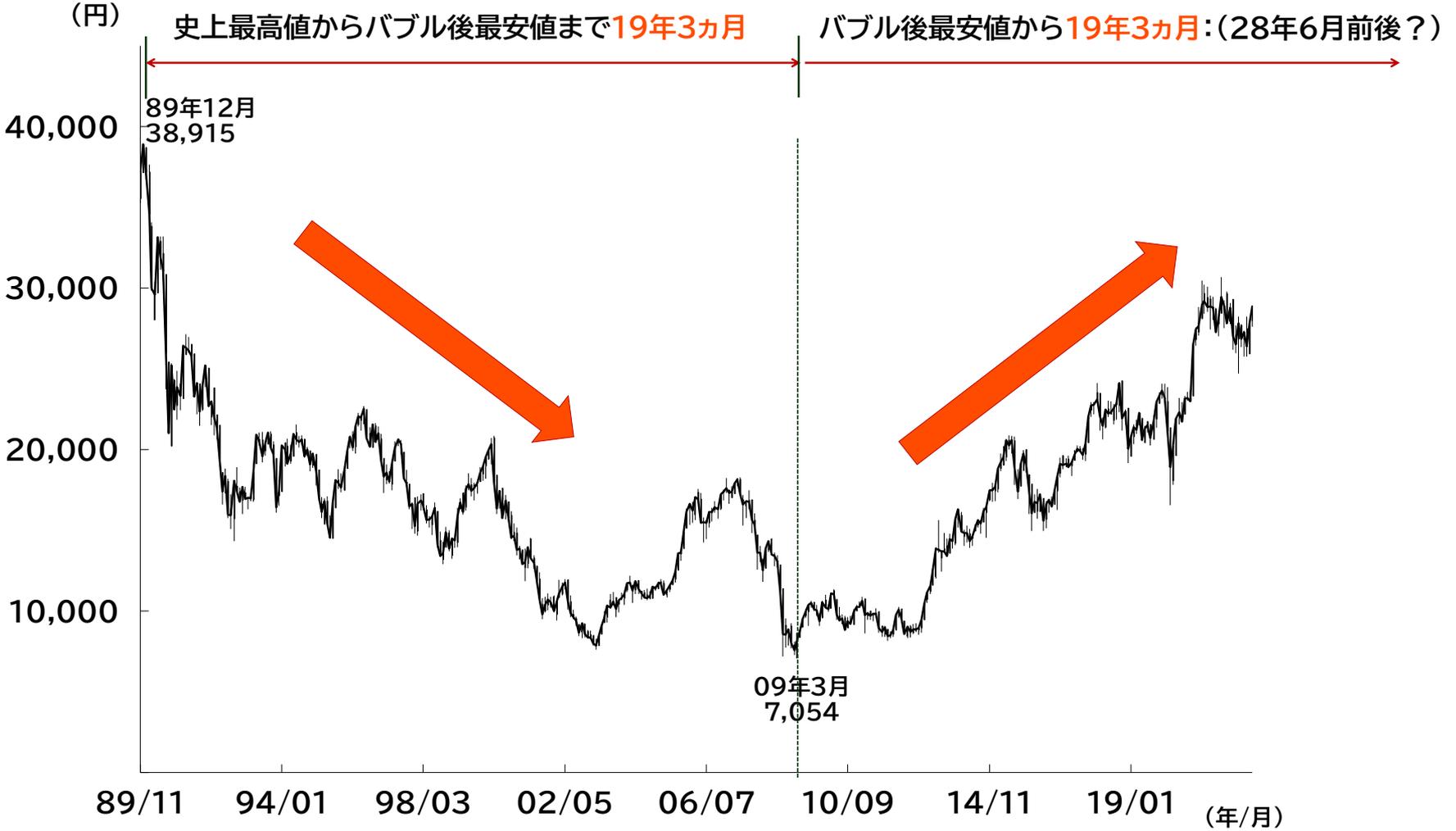
出所: Astra、作成: 岡三にいがた証券、直近は22年8月9日

NYダウの月別平均リターン(2000年以降)



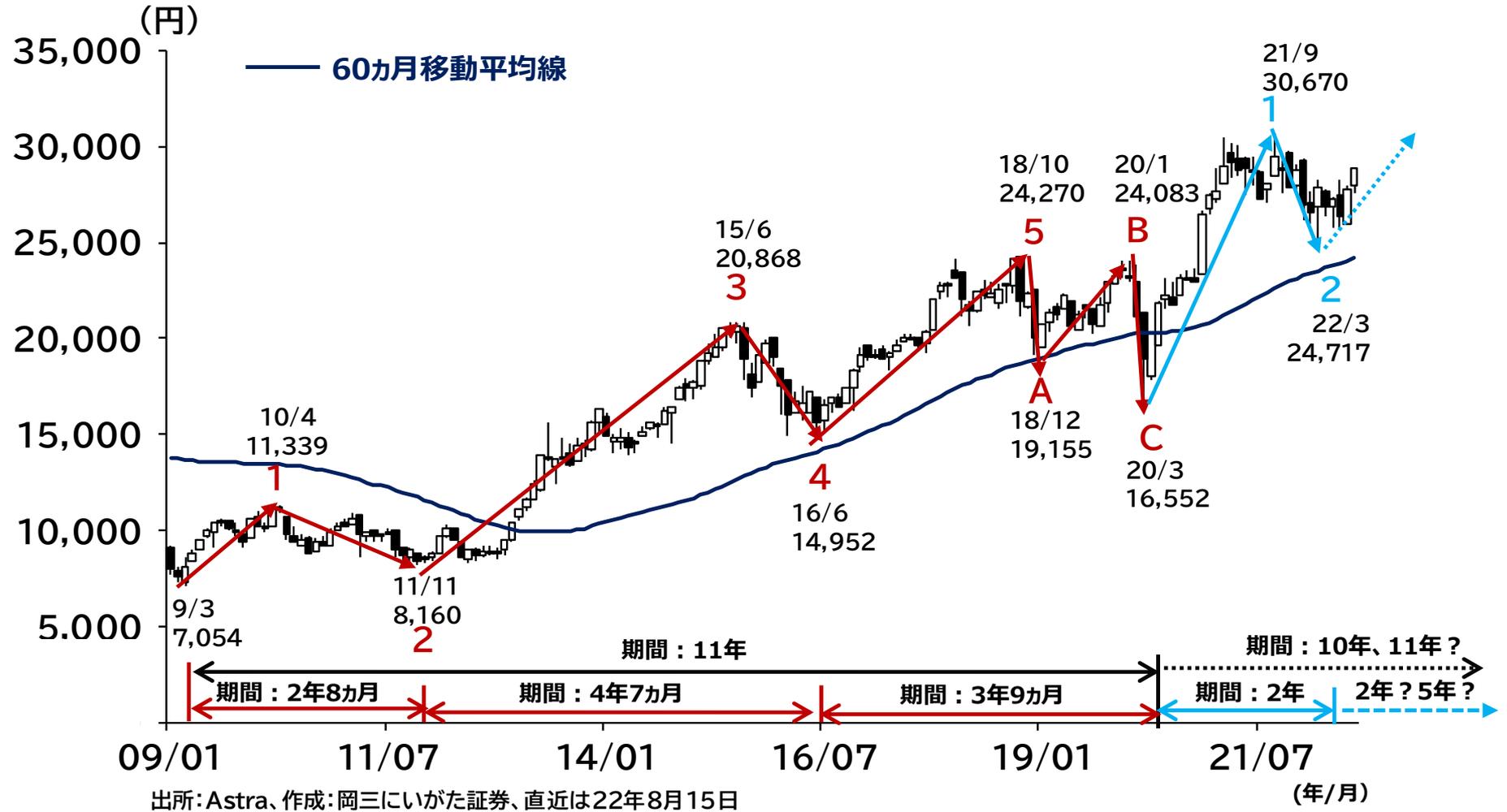
出所: Astra、作成: 岡三にいがた証券、直近は22年8月9日

日経平均(月足):過去最高値以降



出所:Astra 作成:岡三にいがた証券 直近は2022年8月15日まで

日経平均(月足):リーマンショック安値以降



2022年 今後の主なスケジュール

月	イベント	主な中央銀行金融会合		
		米国	日本	欧州
8月	ジャクソンホール会合(25日~27日)			
9月	日中国交正常化50周年(29日)	20-21日	21-22日	8日
10月	第20回中国共産党全国代表大会		27-28日	27日
11月	第27回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP27)	1-2日		
	米中間選挙(8日)			
12月		13-14日	19-20日	15日

各種資料を基に岡三にいがた証券作成、8月15日時点、予定は今後変更となる場合があります。

次回のオンラインセミナー(予定)

★8月**29**日(月)**18:00**~18:20

『ジャクソンホール会議から
今後の相場を読み解く』

講師:エクイティ情報部担当 広川 雅巳

※セミナーは、予告なく内容・講師・時間等を変更、または中止する場合があります

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

手数料およびリスクについての重要な注意事項

<有価証券や金銭のお預りについて>

有価証券や金銭を当社の口座でお預りする場合には、当社では料金を頂戴いたしません。なお、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じ、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株 式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債 券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。

・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.1%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))

保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.145%(税込み))

換金時に直接ご負担いただく費用:換金手数料(お申込金額に対して1口当り最大1.1%(税込み))また、信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)

その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。

・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。

・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。

・上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

この資料は岡三にいがた証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本資料に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三にいがた証券およびその関係会社、役員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

岡三にいがた証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号

加入協会:日本証券業協会

(2019年10月改訂)